

第 63 回 CDM 理事会傍聴出席報告（速報版）

2011 年 10 月 5 日

社団法人海外環境協力センター

I. 理事会概要

1. 日時： 2011 年 9 月 25 日（日）～9 月 29 日（木）
2. 場所： Ministerio de Relaciones Exteriores, Comercio e Integracion
（エクアドル・キト）
3. 議題：
 1. 議題
 2. ガバナンス・管理事項
 3. 判定（個別案件）
 4. 規制事項
 5. 各種フォーラム及び関係者との関係
 6. その他



【ガバナンス・管理事項】

<メンバーシップ>

- ・7月20日付で、Jose Miguel Leiva 代理理事（グアテマラ）が辞任し、後任として、Raul Castaneda 氏（グアテマラ）が選出。
- ・9月21日付で、黒木 昭弘理事（日本（日本エネルギー経済研究所））が辞任し、後任として、戒能 一成氏（日本（経済産業研究所・東京大学））が選出。

<理事会及び支援機関>

- ・CMP7 へ提出する EB 年次報告書について検討。次回 EB64 にて採択予定。
- ・登録・発行チーム（RIT）メンバーの任期1年延長（～2012年9月30日）を決定。

<各パネル・ワーキンググループ>

- ・CDM 認定パネル（CDM-AP）
 - ✓ 認定基準の改善を盛り込んだ 2011 年度 CDM-AP 作業計画（第2版）を採択。
 - ✓ 次回 CDM-AP57 は 10 月 11 日～14 日にドイツ・ボンにて開催予定。
- ・方法論パネル（MP）
 - ✓ 新規方法論案 3 件（NM0338、NM0344、NM0345）について、引き続き MP にて検討が行われることとなった。
 - ✓ 次回 MP52 は 10 月 3 日～7 日にドイツ・ボンにて開催予定。
- ・小規模 CDM ワーキンググループ（SSC WG）
 - ✓ 下記案件について SSC WG にて引き続き作業を行っていることが報告。
 - ・ より効率的な農業用ポンプ、灌漑活動に関するトップダウン型方法論
 - ・ コンピューターシミュレーションを用いた建設物の省エネ手法に関するトップダウン型方法論

- ✓ 新規 SSC 方法論案 3 件 (SSC-NM067、SSC-NM068、SSC-NM069) について、引き続き SSC WG にて検討が行われることとなった。
- ✓ 次回 SSC WG34 は 10 月 11 日～14 日にガンビア・バンジュールにて開催予定。

・植林・再植林 CDM ワーキンググループ (A/R WG)

- ✓ 下記案件について A/R WG にて引き続き作業を行っていることが報告。
 - ・ AR プロジェクト案件の森林火災からの排出量算定
 - ・ AR プロジェクト用の標準化ベースラインの開発
 - ・ 小規模 AR プロジェクトの追加性証明の代替アプローチ
 - ・ プロジェクトバウンダリ設定のための土地適格性に関する簡素化アプローチ
- ✓ 次回 A/R WG34 は 10 月 10 日～12 日にドイツ・ボンにて開催予定。

【判定 (個別案件)】

<運営組織 (OE) 認定>

- ・定期実地調査 (regular on-site assessment) 評価 (是正の必要無/positive outcome) (7 機関) [実地調査先]:

- ERM Certification and Verification Services Ltd. (ERM CVS) (英国) [支社 (中国・上海)] (E-0016)
- TÜV NORD CERT GmbH (TÜV Nord) (ドイツ) [支社 (インド・ムンバイ)] (E-0022)
- TÜV NORD CERT GmbH (TÜV Nord) (ドイツ) [支社 (中国・香港)] (E-0022)
- Swiss Association for Quality and Management Systems (SQS) (スイス) [本社 (スイス・ツォリコーフェン)] (E-0027)
- Ernst & Young Shi Nihon (E&YSNSI) (日本) [本社 (日本・東京)] (E-0028)
- SIRIM QAS INTERNATIONAL SDN.BHD (SIRIM) (マレーシア) [本社 (マレーシア・シャーアラム)] (E-0038)
- Ernst & Young Associates (France) (EYG) (フランス) [本社 (フランス・ヌイイ=シュル=セーヌ)] (E-0028)

- ・パフォーマンス (performance) 評価 (是正の必要無/positive outcome) (11 機関):

- Japan Quality Assurance Organization (JQA) (日本) (E-0001)
- DNV Climate Change Services AS (DNV) (英国) (E-0003)
- Deloitte Tohmatsu Evaluation and Certification Organization (Deloitte-TECO) (日本) (E-0006)
- SGS United kingdom Limited (SGS) (英国) (E-0010)
- TÜV Rheinland Japan Ltd. (TÜV Rheinland) (日本) (E-0013)
- TÜV NORD CERT GmbH (TÜV Nord) (ドイツ) (E-0022)
- Lloyd's Register Quality Assurance Ltd. (LRQA) (英国) (E-0022)
- Colombian Institute for Technical Standards and Certification (ICONTEC) (コロンビア) (E-0024)
- Swiss Association for Quality and Management Systems (SQS) (スイス) (E-0027)
- LGAI Technological Center, S.A. (Applus) (スペイン) (E-0032)
- China Quality Certification Center (CQC) (中国) (E-0044)

- ・パフォーマンス (performance) 評価 (是正の必要有/negative outcome) (1 機関):

- Bureau Veritas Certification Holding SAS (BVCH) (英国) (E-0009)

- ・DOE の本社移転や法人変更申請の認定 (2 機関):

- Bureau Veritas Certification Holding SAS (BVCH) (英国) (E-0009)
 - ✓ 本社をフランス・ヌイイ=シュル=セーヌへ移転
- TÜV Rheinland Japan Ltd. (TÜV Rheinland) (日本) (E-0013)
 - ✓ 法人を TÜV Rheinland (China) Ltd. (本社: 中国・北京) へ変更

・認定期間延長¹（1 機関）：

- Japn Consulting Institute (JCI)（日本）(E-0007)（認定期間：2011年8月2日～2012年2月2日）

<CDM プロジェクト登録>²（プロジェクトの詳細は別添をご参照ください）

- ・登録承認：17 件（日本事業者参加案件 2 件）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・登録不承認：4 件（日本事業者参加案件なし）
- ・次回 EB64 へ決定先送り（クレジット期間更新要請案件）：1 件（日本事業者参加案件 1 件）

<CER 発行>³（プロジェクトの詳細は別添をご参照ください）

- ・発行承認：1 件（日本事業者参加案件なし）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・発行不承認：1 件（日本事業者参加案件なし）
- ・以前、CER 発行不承認判定を受けた案件の再申請提出許可：11 件（日本事業者参加案件 2 件）
- ・以前、CER 発行要請の取り消しを行った案件の再申請提出不許可：3 件（日本事業者参加案件なし）
- ・登録済 PDD 記載内容の変更に伴う申請変更提出許可：1 件（日本事業者参加案件 1 件）

【規制事項】

<プロジェクト及び PoA 関連>

- ・「PoA の GHG 排出削減追加性証明基準（“Standard for demonstration of additionality of GHG emission reductions achieved by a programme of activities”）」承認。
- ・「PoA の下に CPA としてプロジェクトを含める適格性開発基準（“Standard for the development of eligibility criteria for the inclusion of a project activity as a CPA under a PoA”）」承認。
- ・「プログラム活動への複数 CDM 方法論基準（“Standard for application of multiple CDM methodologies for a programme activities”）」承認。
- ・「CDM プロジェクト及びプログラム活動へのサンプル及び調査基準案（draft “Standard for sampling and surveys for CDM project activities and programme activities”）」について、DOE 及び PP からのコメント受付を決定。（受付期間：2011年10月7日～17日）
- ・「CDM プロジェクト基準案（draft CDM project standard (PS)）」を検討。EB64 にて再度検討を行うこととなった。
- ・「CDM 有効化審査・検証基準案（draft CDM validation and verification standard (VVS)）」を検討。EB64 にて再度検討を行うこととなった。

<大規模方法論関連>

- ・新規方法論の承認（5 件）
 - **AM0095**：“Waste gas based combined cycle power plant in a Greenfield iron and steel plant”（スコープ 1：エネルギー産業、4：製造業）<未開発の鉄鋼プラントでの排ガス利用複合サイクル発電所>⁴

¹ 再認定手続遅延のため、CDM-AP より 6 ヶ月間の認定延長が勧告された。（[CDM 認定手続](#)パラ 142 に基づく処置）

² 2011 年 9 月 29 日現在、3,472 件のプロジェクトが登録済。（PoA プロジェクトは 12 件登録済。）

³ 2011 年 9 月 29 日現在、744,174,126CERs が発行済。

⁴ NM0292：“Highly efficient power plant fuelled with blast furnace gas at TKCSA, in Rio de Janeiro, Brazil”

- **AM0096 : “CF6 emission reduction from installation of an abatement system in a semiconductor manufacturing facility”** (スコープ 4 : 製造業、11 : HFC 及び SF6 の製造及び消費による漏洩) <半導体製造設備での除去装置導入による CF6 排出削減>⁵
- **AM0097 : “Instrallation of high voltage direct current power transmission line”** (2 : エネルギー供給) <高電圧直流電力送電線の導入>⁶
- **AM0098 : “Utilization of ammonia-plant off gas for steam generation”** (スコープ 1 : エネルギー産業、5 : 化学産業) <アンモニアプラントからの排ガスを利用した蒸気発生>⁷
- **ACM0020 : “Co-firing of biomass residues for heat generation and/or electricity generation in grid connected power plants”** (スコープ 1 : エネルギー産業) <グリッド接続の発電プラントにおける熱生成及び発電のためのバイオマス残渣の混焼>⁸
- ・不承認 (2 件) : NM0343⁹、NM0349¹⁰
- ・方法論ツール「道路輸送貨物からのプロジェクト及びリーケージ排出算定ツール (“Tool for project and leakage emission from road transportation of freight”)」承認。
- ・方法論案「分離されたグリッドでの再生可能エネルギー発電 (draft methodology “Renewable energy power generation in isolated grids”)」及び、ツール案「コンポストからのプロジェクト及びリーケージ排出量 (draft tool “Project and leakage emissions from composting”)」について、パブリックコメント受付 (受付期間 : 2011 年 9 月 30 日~10 月 10 日) を決定。
- ・「その種で初めてのプロジェクト活動の追加性ガイドライン (“Guidelines on additionality of First-of-its-kind project activities”)」承認。
- ・「コモンプラクティスガイドライン (“Guidelines on Common Practice”)」承認。
- ・AM0001 「HFC23 排ガス燃焼」修正案について、下記 2 つのオプションの検討を MP に要請。
 - ✓ CDM でのクレジット適格性のある HCFC-22 生産ラインへの排気係数 1% の適用
 - ✓ CDM でのクレジット適格性のない HCFC-22 生産ラインからの HFC-23 排気燃焼へのより高い排気係数 (例えば 1.2%) の適用
- ・承認済み方法論の修正承認 (5 件) ¹¹
 - AM0023、AM0034、ACM0006、ACM0017、ACM0018
- ・「電力システムでの排出係数算定ツール (“Tool to calculate the emission factor for an electricity system”)」修正承認。
- ・「クレジット期間更新における最初/現在のベースライン更新の妥当性評価ツール (“Tool to assess the validity of the original/current baseline and to update the renewal of a crediting period”)」修正承認。

(プロジェクト事業者 : ThyssenKrupp Steel AG)

⁵ NM0332 : “PFCs emission reduction from installation of an abatement devices in a semiconductor manufacturing facility” (プロジェクト事業者 : Samsung Electronics Co., Ltd、Environmental Resources Management (ERM)、Korea Research Institute of Standard and Science (KRISS))

⁶ NM0334 : “Instrallation of high efficient technology for power transmission” (プロジェクト事業者 : Adani Power Limited, India)

⁷ NM0346 : “Utilization of ammonia-plant off gas for heat generation” (プロジェクト事業者 : 清水建設)

⁸ NM0347 : “Biomass residue co-firing at an existing or a new boiler(s)” (プロジェクト事業者 : PT. Carbon Partners Asiatica) 及び AM0085 “Co-firing of biomass residues for electricity generation in grid connected power plants”の統合化

⁹ NM0343 : “Methodology for RHF-based energy efficient iron-making technology”

¹⁰ NM0349 : “Avoidance of N2O formation by switching over to the catalytic oxidation with oxygen from oxidation with nitric acid in manufacturing of substituted benzoic acids at GIDC, Ankleshwar, India”

¹¹ 修正版方法論及びツールに関連して、2012 年 5 月 29 日 (24:00GMT) 以降は旧バージョンでの PDD アップロードは認められない。

<小規模方法論関連>

- ・ トップダウン型開発が行われた下記小規模方法論案について、パブコメの受付を決定。(受付期間：2011年9月30日～10月30日)
 - SSC-II. N “Demand-side energy efficiency activities for installation of energy efficient lighting and/or controls in buildings”
 - SSC-I. N “Solar cookers for households”
- ・ 承認済み SSC 方法論の修正承認 (2件)¹²
 - AMS-III.G、AMS-III.D
- ・ PoA 案件への適用方法論として AMS-I.A と AMS-I.D もしくは AMS-I.F の組み合わせを承認。
- ・ 「マイクロスケールプロジェクトの追加性証明ガイドライン (“Guidelines for demonstrating of additionality of microscale project activities”)」の修正を承認。
- ・ 再生可能発電技術のポジティブリスト (各種バリア証明を省略し、自動的に追加性を確定) の設立を承認。「マイクロスケールプロジェクトの追加性証明ガイドライン (“Guidelines for demonstrating of additionality of microscale project activities”)」の修正を承認。
- ・ 「マイクロスケールプロジェクトの追加性証明ガイドライン」に関連して、ポジティブリストに記載のない再生可能エネルギー技術案件については、閾値をグリッド接続電力の最大 3% までとすることを決定。

<植林・再植林方法論関連>

- ・ 不承認 (1件) : ARNM0039¹³
- ・ 承認済み AR 方法論の修正承認 (1件)
 - AR-ACM0002
- ・ AR-AM0006 の廃止¹⁴を決定。
- ・ 「登録済み AR CDM プロジェクトの検証活動への特定バージョンの方法論適用ガイドライン (“Guidelines on application of specified versions of A/R CDM methodologies in verification of registered A/R CDM project activities”)」承認。
- ・ 「AR CDM プロジェクトの登録済み PDD 記載内容からの算定変更ガイドライン (“Guidelines on accounting of changes in A/R CDM project activities from the description in registered project design documents”)」承認。

<プロジェクトサイクルに関する手続事項>

- ・ 「CDM プロジェクトサイクル手続案 (draft “CDM project cycle procedure (PCP)”)」を検討。次回 EB64 にて再度検討を行うこととなった。

<方法論に関する手続事項>

- ・ 「小規模 CDM の下での非再生可能バイオマスからの置換に関するベースライン算定標準化アプローチ (“standardized approaches for baseline emission calculation under SSC CDM methodologies for displacement of non-renewable biomass”)」について、パブリックコメント受付を決定。(受付期間：2011年9月30日～10月10日)

¹² 2011年10月13日 (24:00GMT) より発効

¹³ ARNM0039 : “CarbonFix A/R baseline and monitoring methodology for multiple baseline land use and leakage settings”

¹⁴ AR-AM0006 (劣化地での補助低木を伴う高木の新規植林・再植林) の内容は、現行の AR-ACM0001 (劣化地の新規植林・再植林統合方法論) で全てカバーされていることから、2012年5月29日付での廃止が決定。

- ・「標準化ベースライン提出手続 (“Procedure for submission and consideration of standardized baselines”）」承認。また、同手続の実施計画 (implementation plan) の作成を事務局に指示 (EB65 にて検討予定)。
- ・「登録済み CDM プロジェクト活動のクレジット期間更新手続 (“Procedure for renewal of the crediting period of a registered CDM project activity”）」から、「クレジット期間更新における最初/現在のベースライン更新の妥当性評価ツール (“Tool to assess the validity of the original/current baseline and to update the renewal of a crediting period”）」を分離¹⁵することを承認。

<方法論に関する政策事項>

- ・「需要抑圧に関する作業プログラム (“work programme on suppressed demand”）」を承認。需要抑圧に関して、パブリックコメント受付を決定。(受付期間：2011年9月30日～10月30日)

【その他】

- ・ CDM 関連イベント開催情報
 - ✓ アジア太平洋地域 DNA フォーラム (2011年9月5～6日開催済)
 - ✓ プロジェクト基準、有効化審査・検証基準、プロジェクトサイクル手続、PoA 基準統合化ワークショップ (2011年8月24～26日開催済)
 - ✓ 標準化ベースラインワークショップ (2011年9月5～6日開催済)
 - ✓ アジア太平洋地域プロジェクト地域偏在問題ワークショップ (2011年9月5～6日開催済)
- ・ 次回第 64 回 CDM 理事会 (EB64) は、2011年10月24日～26日、ドイツ・ボンにて開催予定。

¹⁵ 妥当性評価ツールは、以前まで期間更新手続の附属書 (Annex) という位置付けであったが、今回別の文書として承認を行った。

4. 出席者

網掛部は EB63 欠席メンバー (6名)
赤字は EB63 からの新メンバー (2名)

出身地域枠		理事 (Member) 【10名】	代理理事 (Alternate Member) 【10名】
国連 地域 グループ (5 地域)	アフリカ	Mr. Victor Kabengale (コンゴ民主共和国/環境省)	Ms. Fatou Gaya (ガンビア/環境・森林省(前 JISC 理事))
	アジア	Mr. Shafqat Kakakhel (パキスタン/パキスタン国気候変動タスクフォースメンバー)	Mr. Hussein Badarin (ヨルダン/環境省)
	東欧	Ms. Diana Harutyunyan (アルメニア/自然保護省自治体暖房・温水供給局、アルメニア DNA 事務局)	Ms. Danijela Bozanic (セルビア/環境・国土計画省気候変動ユニット長、セルビア DNA 事務局)
	ラテンアメリカ・カリブ海	Mr. Daniel Ortega Pacheco (エクアドル/外務・貿易・統合省 環境・気候変動室室長)	Mr. Raul Castaneda (グアテマラ/環境天然資源省)
	西欧 その他	Mr. Martin Hession (イギリス/エネルギー・気候変動省 国際気候変動・オゾンカーボン市場担当)	Mr. Thomas Bernheim (欧州共同体 (EC) /環境総局)
附属書 I 国 (Annex I)		Mr. Pedro Martins Barata (ポルトガル/環境・都市計画・地域開発省 気候変動委員会 上級アドバイザー)	Mr. Lex de Jonge (オランダ/住宅・国土計画・環境省 CDM ユニット長)
		Mr. Kazunari Kainou (戒能 一成 氏) (日本/(独)経済産業研究所・東京大学)	Mr. Peer Stiansen (ノルウェー/環境省 気候変動上級アドバイザー)
非附属書 I 国 (Non-Annex I)		Mr. Philip M. Gwage (ウガンダ/前 水・土地・環境省 気象局)	Mr. Paulo Manso (コスタリカ/環境・エネルギー省、コスタリカ DNA 事務局)
		Mr. Maosheng Duan (中国/清華大学エネルギー経済研究所)	Ms. June Hughes (セントキッツ&ネイビス/保健・環境省)
小島嶼国連合 (AOSIS)		Mr. Clifford Mahlun (ジャマイカ/地方政府・環境省 気象庁)	Mr. Asterio Takesy (ミクロネシア/政府上級顧問 (前 南太平洋地域環境計画(SPREP)所長))

オブザーバー参加者：5名

(文責：家本 了誌)

別添：【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

【CDM プロジェクト活動の登録に関する事項】

<登録申請・レビュー要請案件（4桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当DOE]>

- ・登録承認：17件（日本事業者参加案件2件）
 - “Korea Hydro & Nuclear Power Plant Co. (KHNP) Cheongpyeong Hydro Power Plant Unit 4 Project” (3268)（韓国）[DNV]
 - “Rio Amoya Run-of-River Hydro Project” (3461)（コロンビア/オランダ）[DNV]
 - “Hebei Shengyuan Xuandong Coal Mine Methane Utilization Project” (3503)（中国/オランダ）[DNV]
 - “Waste Heat Recovery and Utilization for Power Generation Project of Xuancheng Conch Cement Company Limited” (3522)（中国/英国）[DNV]
 - “BRT Lines 1-5 EDOMEX, Mexico” (3869)（メキシコ/スイス）[DNV]
 - “Fuel switch from fossil fuel to biomass residues for cogeneration in integrated pulp and paper unit of ITC PSPD at Bhadrachlam” (3890)（インド）[DNV]
 - “Waste Heat Recovery and Power Generation Project in Jilin Yatai Group Mingcheng Cement Co., Ltd.” (3994)¹⁶（中国/日本[カーボンキャピタルマネジメント]）[DNV]
 - “10 MW biomass power plant at Sangli by Sinewave Power” (4063)（インド/英国）[DNV]
 - “Pure-low Temperature Waste Heat Recovery for Power Generation (9 MW) in Changsha Pingtang Cement Co., Ltd.” (4169)（中国/英国）[DNV]
 - “Methane Recovery and Utilization Project of Dai Viet Co., Ltd, Vietnam” (4291)（ベトナム/ドイツ）[DNV]
 - “Pure-low Temperature Waste Heat Recovery for Power Generation (12 MW) in Hunan Cement Co., Ltd. Of Zhaoshan Xinxing Group (ZSHN)” (4420)（中国/英国）[DNV]
 - “Quang Ngai APFCO Tapioca starch wastewater biogas extraction and utilization project, QuangNgai Province, Socialist Republic of Viet Nam” (4514)¹⁷（ベトナム/日本[住友商事]）[DNV]
 - “19.8 MW grid connected Wind farm project by K.P.R Mill Private Limited, Tamil Nadu, India at Villages: Keelaveeranam, Kuruchampatti, Vadi, Ayansurandi, Rajagopalaperi, District: Tirunelveli, Tamilnadu by M/s K.P.R. Mill Private Limited” (4540)（インド）[DNV]
 - “Dak Pone Hydropower Project” (4550)（ベトナム/スイス）[DNV]
 - “Monterrey I LFG Energy Project” (4598)（メキシコ/デンマーク）[DNV]
 - “Greenhouse Gas Emission Reductions Through Super Critical Technology – Jharkhand Integrated Power Ltd.” (4629)（インド）[DNV]
 - “Changchun City Landfill Gas Power Generation Project” (4668)（中国/スイス）[DNV]
- ・レビュー実施決定：なし
- ・登録不承認：4件（日本事業者参加案件なし）
 - “Cabo Negro Wind Farm Project, Phase I” (4103)（チリ）[DNV]

¹⁶ 3994「吉林亜泰明城セメント有限公司廃熱回収発電プロジェクト」（日本政府承認2010年6月9日（担当官庁：経済産業省））

¹⁷ 4514「ベトナム社会主義共和国カンナイ省 Quang Ngai APFCO 社におけるタピオカ澱粉排水からのバイオガス抽出・有効利用プロジェクト」（日本政府承認2011年2月1日（担当官庁：経済産業省））

- “Utilisation of the thermal energy content of the waste gas of clinker cooker and pre-heater for power generation at a cement plant in Rajasthan” (4226) (インド) [DNV]
 - “Carroll’s Foods do Brasil & LOGICarbon – GHG Emission Reductions from Swine Manure Management System, Diamantino. MT. Brazil” (4293) (ブラジル) [DNV]
 - “Biomass based co-generation project” (4407) (インドネシア) [DNV]
- ・次回 EB64 へ決定先送り¹⁸ (クレジット期間更新要請案件) : 1 件 (日本事業者参加案件 1 件)
- “HFC Decomposition Project in Ulsan” (0003)¹⁹ (韓国/スイス・日本[イネオスケミカル]) [DNV]

¹⁸ EB56 (2010 年 9 月) にてレビュー実施が決定されていた案件 (EB58~EB62 でも今回の EB63 同様、決定が先送りされていた)。

¹⁹ 0003 「韓国ウルサン市における HFC 類の破壊事業」 (日本政府承認 2006 年 12 月 6 日 (担当官庁 : 経済産業省))

別添：【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

＜CER 発行要請・レビュー要請案件（4 桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当 DOE]＞

- ・発行承認：1 件（日本事業者参加案件なし）
 - “Hangyeong second phase SS-wind power Project” (1000) (韓国) [KSA]（モニタリング期間：2007 年 12 月 24 日～2010 年 10 月 31 日）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・発行不承認：1 件（日本事業者参加案件なし）
 - “Bundled wind power project in Chitradurga (Karnataka in India) managed by Enercon (India) Ltd.” (0276) (インド/オランダ) [BVC]（モニタリング期間：2007 年 7 月 1 日～2010 年 12 月 31 日）
- ・以前、CER 発行不承認判定を受けた案件の再申請提出許可：11 件（日本事業者参加案件 2 件）
 - “AWMS GHG Mitigation Project BR05-B-07, Mato Grosso, Minas Gerais and Goias, Brazil” (0337) (ブラジル/スイス・英国) [DNV]（モニタリング期間：2009 年 9 月 1 日～2010 年 2 月 28 日）
 - “AWMS GHG Mitigation Project BR05-B-04, Parana, Santa Catarina, and Rio Grande do Sul, Brazil” (0411) (ブラジル/スイス・英国) [DNV]（モニタリング期間：2009 年 12 月 1 日～2010 年 5 月 31 日）
 - “AWMS GHG Mitigation Project BR05-B-05, Minas Gerais and Sao Paulo, Brazil” (0412) (ブラジル/スイス) [DNV]（モニタリング期間：2009 年 4 月 1 日～2009 年 10 月 31 日）
 - “Aquarius Hydroelectric Project” (0627)²⁰ (ブラジル/スイス・英国・日本[電源開発]) [TUV-Nord]（モニタリング期間：2008 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日）
 - “Rialma Companhia Energetica I S/A. – Santa Edwiges I Small Hydro Power Plant – Small Sscale CDM Project” (0830) (ブラジル/スイス) [BVC]（モニタリング期間：2009 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日）
 - “Shenzhen Xiaping Landfill Gas Collection and Utilization Projectl” (0887) (中国/スイス・英国) [DNV]（モニタリング期間：2009 年 2 月 1 日～2009 年 9 月 30 日）
 - “MEN-Tangerang 13.5 MW Natural Gas Co-generation Projectl” (1313)²¹ (インドネシア/英国・日本[三菱 UFJ 証券]) [TUV-Nord]（モニタリング期間：2008 年 9 月 1 日～2009 年 8 月 31 日）
 - “AWMS Methane Recovery Projectl BR07-S-34, Bahia, Espirito Santo, Minas Gerais, and Sao Paulo, Brazil” (1534) (ブラジル/スイス・英国) [DNV]（モニタリング期間：2008 年 4 月 10 日～2010 年 5 月 31 日）
 - “Methane Recovery in Wastewater Treatment Projectl AIN07-W-04, Sumatera Utara, Indonesia” (2130) (インドネシア/スイス・オランダ) [SIRIM QAS]（モニタリング期間：2009 年 1 月 16 日～2010 年 2 月 28 日）

²⁰ 0627 「ブラジル国 Aquarius 小水力プロジェクト」（日本政府承認 2006 年 4 月 20 日（担当官庁：経済産業省））

²¹ 1313 「インドネシア共和国におけるメンータンジェラン 13.6MW 天然ガス熱電併給プロジェクト」（日本政府承認 2007 年 7 月 6 日（担当官庁：経済産業省））

- “Datong River Zhuchaxia Hydropower Station” (2845) (中国/オランダ) [LRQA] (モニタリング期間：2009年12月21日～2010年5月29日)
- “Bailongjiang Shuiboxia Hydropower Station” (2866) (中国/オランダ) [LRQA] (モニタリング期間：2009年12月21日～2010年5月29日)
- ・以前、CER発行要請の取り消しを行った案件の再申請提出許可：3件（日本事業者参加案件なし）
 - “Nueva Aldea Biomass Power Plant Phase 2” (0346) (チリ/スイス・英国) [SGS] (モニタリング期間：2008年10月1日～2009年12月31日)
 - “Optional utilization of clinker: Substitution of Clinker by Slag in Portland Slag Cement at OCL, Rajgangpur, Sundargarh, Orissa” (0579) (インド) [SGS] (モニタリング期間：2001年4月1日～2007年3月31日)
 - “Paramount Integrated Corporation Methane Recovery and Electricity Generation” (0605) (フィリピン/英国) [SQS] (モニタリング期間：2006年11月1日～2009年6月30日)
- ・登録済PDD記載内容の変更に伴う申請変更提出許可：1件（日本事業者参加案件1件）
 - “ARAPUtanga Centrais Eletricas S.A. – ARAPUCCEL – Small Hydroelectric Power Plants Project” (0530)²² (ブラジル/英国・日本[中国電力・三井住友銀行]) [TUV Nord]

²² 0530「アラブタンガ・セントライス・エレクトリカス株式会社・アラプセル小水力発電-小規模 CDM プロジェクト」（日本政府承認 2007年1月12日（中国電力）、2008年3月10日（三井住友銀行）（担当官庁：経済産業省））